



はは歯クラブだより



NO. 215

こんにちは！  医療法人 **ゆきなり小児・矯正歯科**です。

歯科健診で過蓋咬合（かがいこうごう）と言われたお子さんもいると思います。上下の歯をがっちりかみ合わせて下の前歯が見えないようなものを過蓋咬合と言います。乳歯の間は特別な治療は必要ありませんが、奥歯のかみ合わせからずれている場合は永久歯に生え代わるときに上顎前突（出っ歯）に移行することがあります。注意が必要なかみ合わせです。



指しゃぶりや、口をいつもポカンと開けているなどの悪い習慣がある場合は上の歯が出てきます。お鼻が悪く口で息をする習慣などがある場合も唇の周りの筋肉の発達が悪く、上の歯が出てきます。顎自体の成長には問題がないのですが、上の前歯が外側に傾いて隙間が空いています。なおさら口を閉じることが困難になっていき、唇の周りの筋肉も発達しづ

らい環境となります。

そこで適切な時期に、簡単な矯正装置で歯の傾きを直し唇の筋肉を強化するトレーニングを行い治療します。これらの矯正治療に平行して、お鼻の治療も必要となる場合もあります。小児歯科の専門医で診てもらっていた方がよいでしょう。



詳しくはホームページをご覧ください。
「ゆきなり小児歯科」で検索すると簡単です。
<文責：小児歯科専門医 行成哲弘>